

J R 東海 労 ニュース

No.1664

2012年 2月16日

J R 東海 労働組合

60歳以降の再雇用実現に向け要請行動展開!



- *年金が満額支給される65歳までの、
継続雇用を企業に義務づける法整備の早急な実現!
- *再雇用の基準の完全撤廃!
- *J R 東海の極めて厳しい再雇用基準の撤廃!
- *J R 東海で行われている法を悪用した、
組合差別・不当労働行為を厳しく指導するよう要請!

J R 総連・田城郁参議院議員と共に、50名を超える組合員が参加!

民主党・公明党など160名を超える国会議員を訪問! 44名の国会議員、100名を超える秘書に直接要請!

2月15日、2012 J R 春闘の重要課題である、希望する全社員の60歳以降の再雇用実現に向けた、政党・国会議員要請行動を展開しました。要請行動は、田城郁事務所の力添えを得て、J R 総連の支援・協力により実現しました。J R 総連から武井委員長をはじめ、萩原副委員長、鎌田書記長、湊上政策部長、黒田政治共闘部長も参加し、民主党・公明党など160名を超える国会議員を訪問し要請しました。

会社は、高齢者雇用安定法の再雇用基準を悪用して組織破壊を激化しています。49歳からの10年間にボーナスカット5回、懲戒処分3回以上受けた者は、専任社員（再雇用）として採用しないという規準をつくり、その規準を悪用してボーナスカットを繰り返して、J R 東海労働組合員を専任社員として意図的に採用しない事態をつくり出しています。私たちは、2013年からはじまる、年金支給開始年令の段階的引き上げに伴い、65歳までの完全雇用を求めると共に、J R 東海の法を悪用した組織破壊攻撃・連続した不当ボーナスカットを跳ね返すための闘いとしても位置づけ要請行動を実現してきました。17日から、賃金団交が開始されます。会社にも強く解決を迫ります。署名活動の闘いとあわせ、60歳以降の再雇用実現に向けさらに奮闘しましょう。

